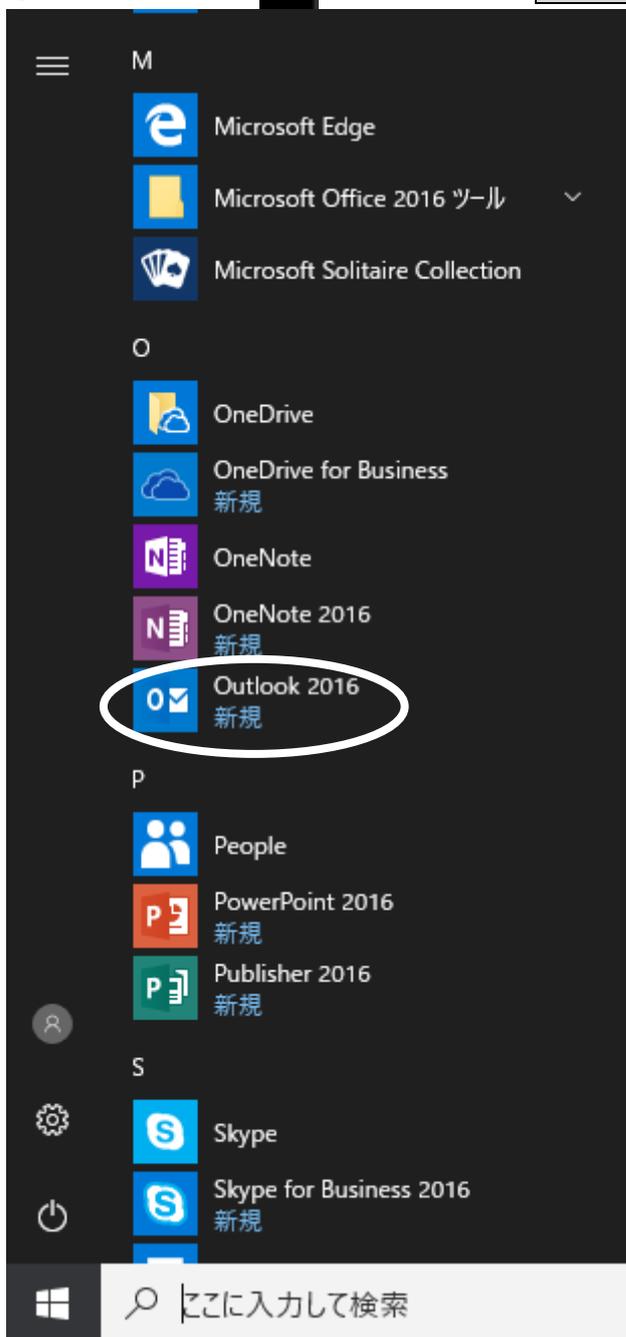
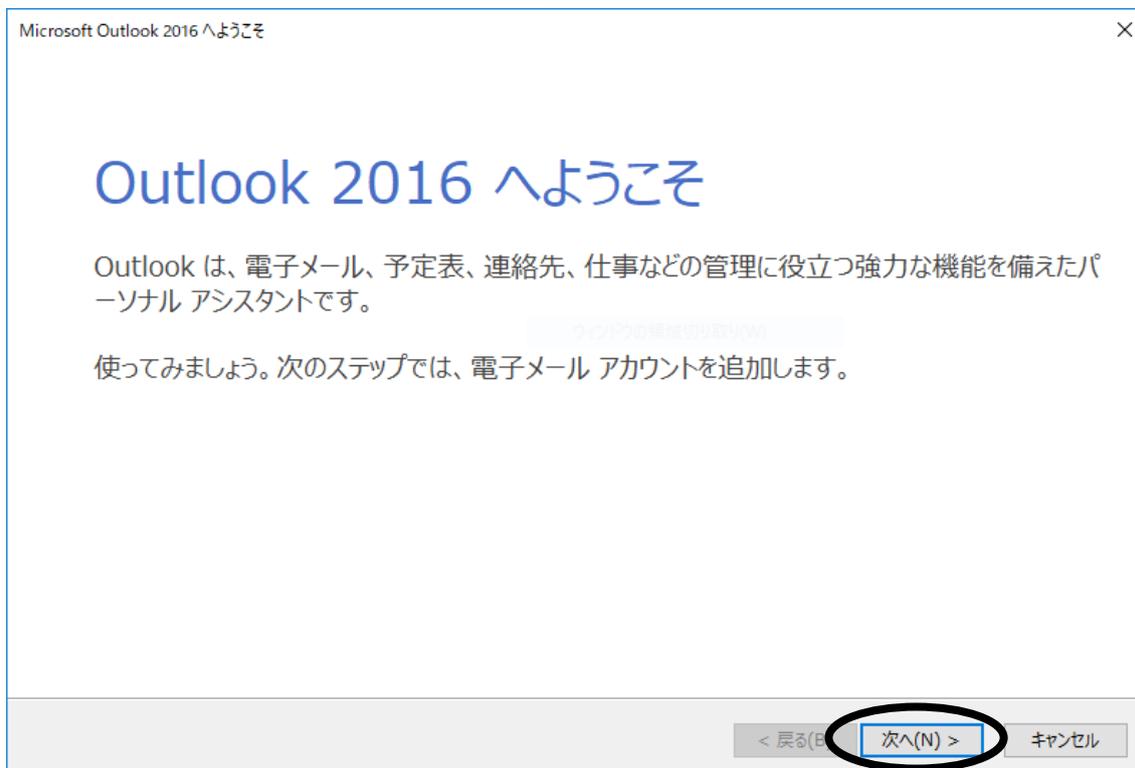


Microsoft Outlook 2016 の設定

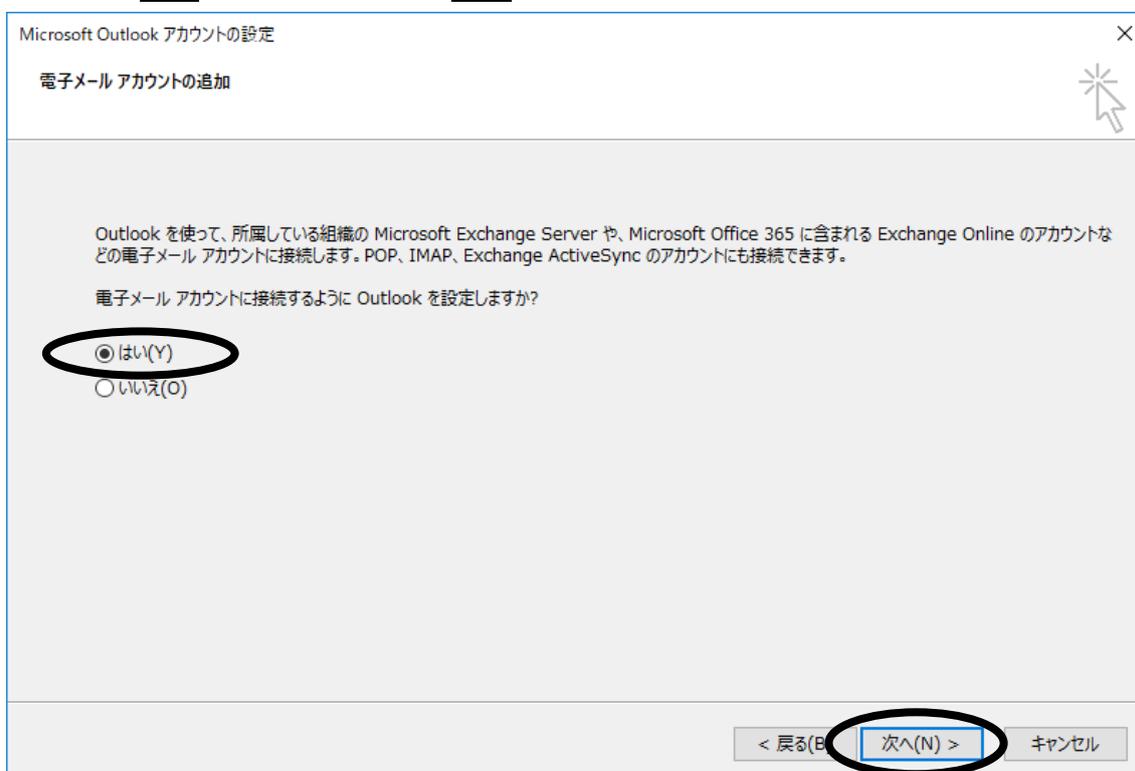
① スタートボタン  をクリックして **Outlook 2016** を選択します。



- ② Outlook の画面が表示されたら、**次へ**をクリックします。



- ③ **はい**にチェックを入れ、**次へ**をクリックします。



- ④ **自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする**にチェックを入れ、**次へ**をクリックします。

アカウントの追加

自動アカウントセットアップ
アカウントを手動で設定するか、または他の種類のサーバーに接続します。

電子メール アカウント(A)

名前(Y):
例: Eiji Yasuda

電子メール アドレス(E):
例: eiji@contoso.com

パスワード(P):

パスワードの確認入力(T):
インターネット サービス プロバイダーから提供されたパスワードを入力してください。

自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする (手動設定)(M)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

- ① **POP または IMAP**にチェックを入れ、**次へ**をクリックします。

アカウントの追加

サービスの選択

Outlook.com または Exchange ActiveSync と互換性のあるサービス(A)
Outlook.com などのサービスに接続し、電子メール、予定表、連絡先、タスクにアクセスします

POP または IMAP(P)
POP または IMAP 電子メール アカウントに接続します

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

- ② 名前に「あなたの名前」を入力し、電子メールアドレスに「z 学籍番号@std.kiis.ac.jp」を入力します。

次に受信サーバーに「stdmail.kiis.ac.jp」、送信サーバーに「smtp.kiis.ac.jp」を入力し、アカウント名に「z 学籍番号」、パスワードに「あなたのパスワード」を入力し、**詳細設定**をクリックします。

- ③ **送信サーバー(SMTP)は認証が必要**にチェックを入れ、**詳細設定タブ**をクリックします。

- ④ このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要にチェックを入れ、使用する暗号化接続の種類をTLSにし、サーバーにメッセージのコピーを置くのチェックを外し、OKをクリックします。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(I): 995 標準設定(D)

このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要 (E)

送信サーバー (SMTP)(O): 25

使用する暗号化接続の種類 (C): TLS

サーバーのタイムアウト (T)

短い 長い 1分

配信

サーバーにメッセージのコピーを置く (L)

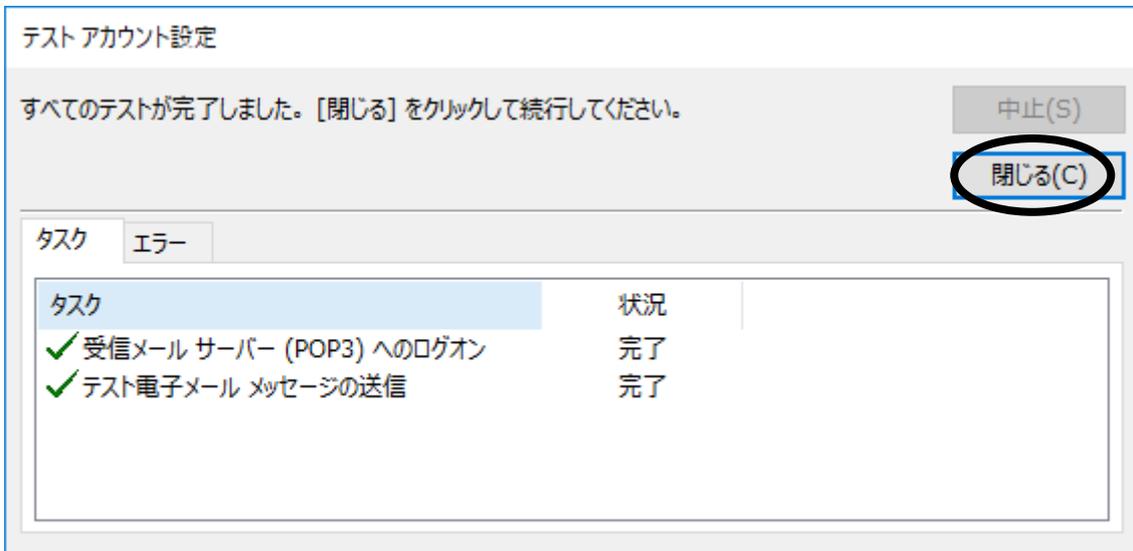
サーバーから削除する (R) 14 日後

[削除済みアイテム] から削除されたら、サーバーから削除 (M)

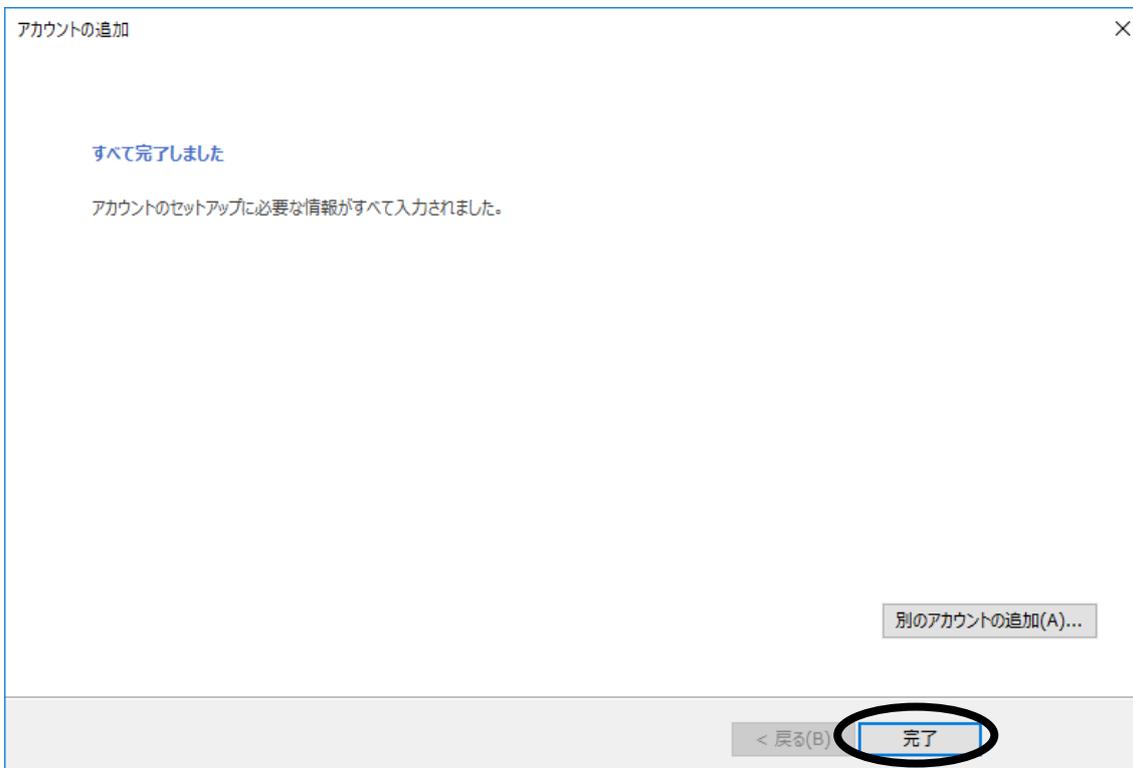
OK キャンセル

- ⑤ 「受信メールサーバーへのログオン」と、「テスト電子メールメッセージの送信」がどちらも完了したら、**閉じる**をクリックします。

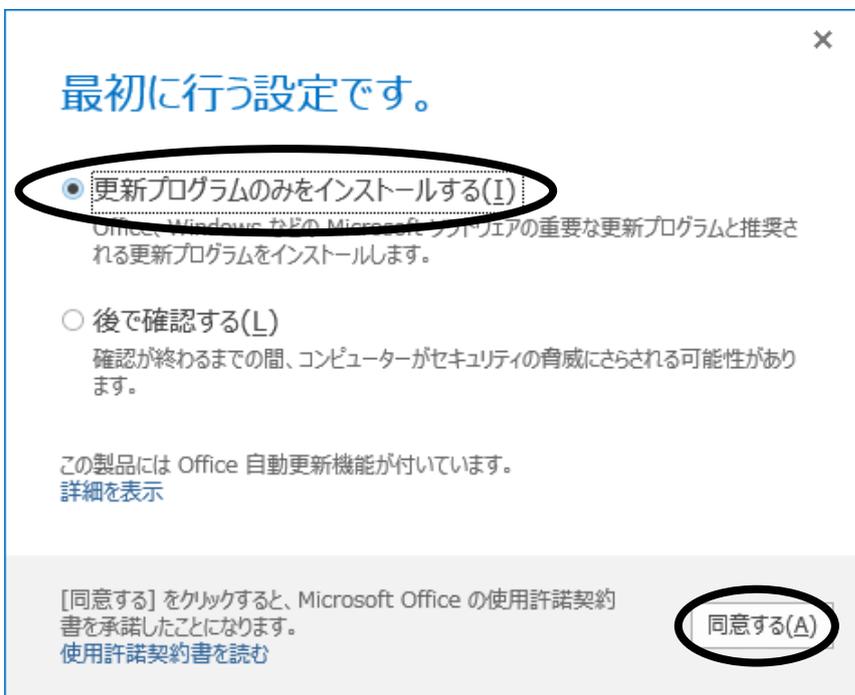
※エラーが発生した場合は、入力したパスワードやサーバー等が正しいかをチェックし、再試行して下さい。



- ⑥ 「すべて完了しました」の表示がされたら、**完了**をクリックします。



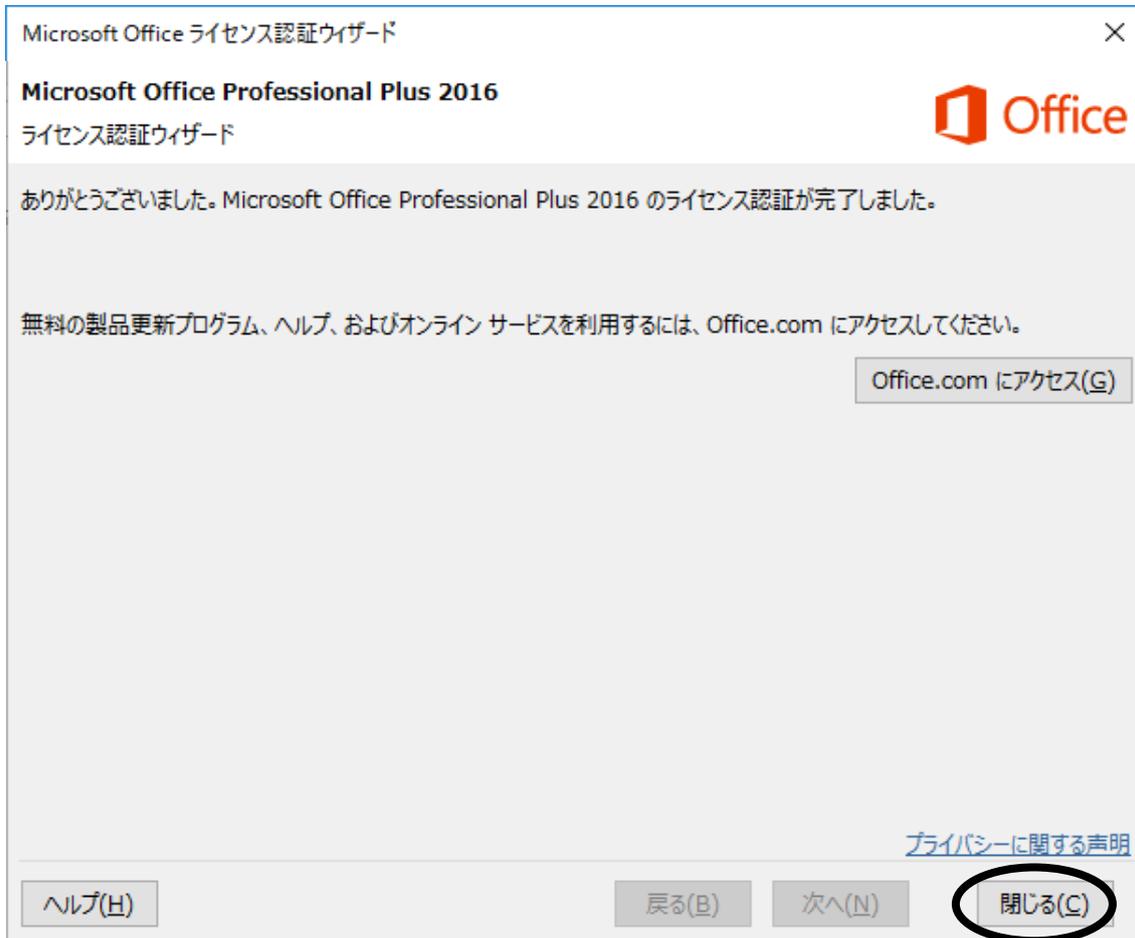
- ⑦ 下のような画面が表示されたら、**更新プログラムのみをインストールする**にチェックを入れ、**同意する**をクリックします。



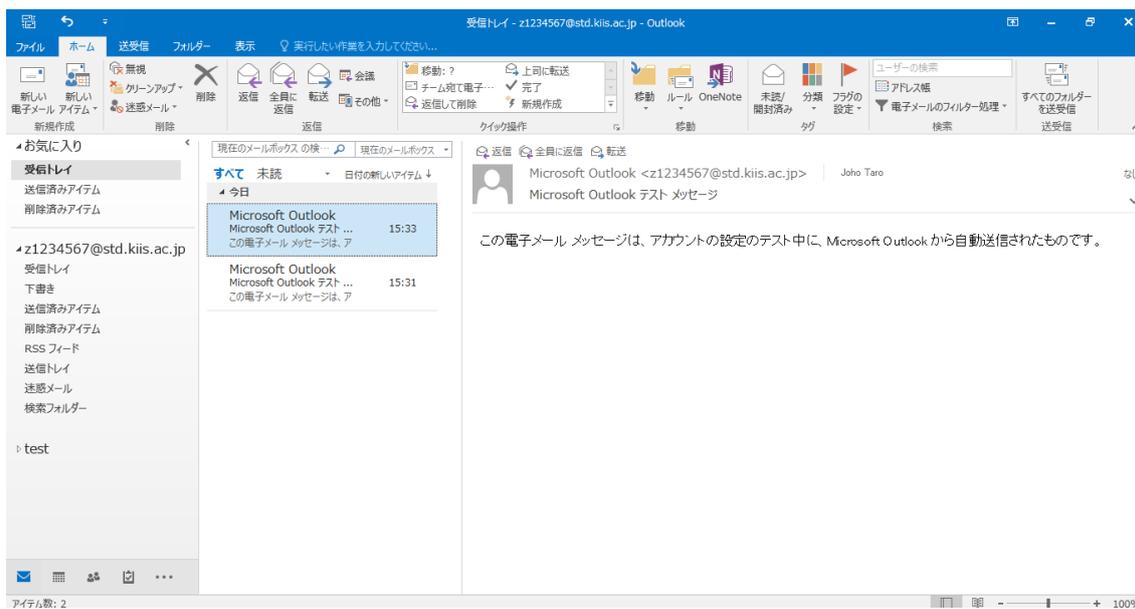
- ⑧ **ソフトウェアのライセンス認証をインターネット経由で行う**にチェックを入れ、**次へ**をクリックします。



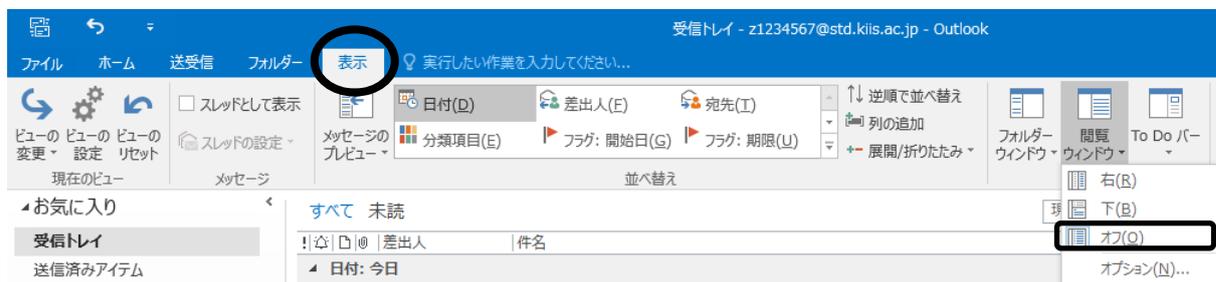
- ⑨ ライセンス認証が完了したら、**閉じる**をクリックします。



- ⑩ Outlook の画面が表示されます。



- ⑪ **表示タブ**をクリックし、**閲覧ウィンドウ**を選択後、**オフ**をクリックします。



※ 以上で Outlook 2016 の設定は終了です。